

カリキュラム

A. バックオフィス	RPA活用
新技術活用	

コースのねらい	業務の自動化による生産性の向上を目指して、RPAの概要や導入手順、活用方法を理解する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	RPAの導入手順	(1)DXとは何か RPAやクラウドサービスはDX推進という枠組みの中で語られることが多くなっています。そのDXの概念と取り組みレベルについて解説します。 (2)RPAを導入する前に業務改善の基本 生産性向上の一つの手法として業務改善があります。業務改善の目的とは何なのかについて、その基本を解説します。そして、業務改善を行う上で最も重要な業務の構造(OIP)と業務プロセスに対する考え方について解説します。 (3)生産性の向上とRPA RPAは生産性向上を支援するためのツールの一つです。ここでは、そもそも生産性向上とは何なのか、生産性向上に取り組むマクロな視点をお伝えします。 その上で、RPAとは何なのか、その概要とRPA市場の動向について解説します。	2.0
	2	RPAの活用方法	(1)RPAの導入事例 RPAは大企業のみならず、中小企業においてもその導入が進んでいます。ここでは、様々な業界で導入されている事例について解説します。 (2)RPAに触れてみよう【演習あり】 Microsoftが提供している無料で使えるRPAツール「デスクトップ版のPower Automate」を利用して、RPAの基本動作とシナリオの作り方、変数や条件分岐、繰り返し処理などのシステム開発の基礎をグループワークで学習します。	3.0
	3	RPA開発の役割	(1)業務改善の重要性と課題解決策の検討順序【演習あり】 RPAはとても便利で誰でも容易に使えるツールです。しかしながら、現在の業務に対してそのままRPA化することはNGです。なぜならば、業務に課題を抱えている状態でRPA化しても、本質的な課題解決にはならないからです。ここでは業務改善を行ってからRPAを導入する重要性について解説します。 また、解決策を検討する際にも「順序」があります。業務改善の4原則であるEORSの法則についても解説します。その上で、RPA化する業務の選定演習を行います。	1.0
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント	RPAツールは業務を効率化(自動化)するためのツールの一つであることを実感していただけるよう、業務改善の基礎から学習します。また、座学のみならず、RPAツールを実際に操作する演習を取り入れることで、RPAでの業務改善の具体的な手法、操作の流れを実感していただけるよう工夫しています。
---------------	---

講師から一言	このセミナーでは、RPAとは何か、どのようなメリットや課題があるのかについて解説するとともに、RPAを導入する前に行うべき業務改善の具体的な手法について紹介します。このセミナーを通して、RPAの効果的な活用方法を理解していただき、自社の業務効率化や品質向上に役立てることができるようになることを目指しています。
--------	---